

## 第三回 学校運営協議会議事録

〈日時〉 令和4年1月26日(水) 15:00～17:00

〈場所〉 メモリアルルーム

〈出席者〉 **学校運営協議委員** 後上 鐵夫、佃 英男、林 孝信、山下 勝也、鉄沢 尚美、森 郁子

**本校教職員** 吉田 隆、川端 裕子、四反田 武志、寺田 将純、植野 達也、  
油谷 貴志、秋山 広樹、中林 千尋

〈欠席者〉 **本校教職員** 松下 知弘 (敬称略)

- 〈資料一覧〉
- 1、令和3年度 学校経営計画及び学校評価
  - 2、令和4年度 学校経営計画及び学校評価
  - 3、令和3年度 貝塚高等学校 授業アンケート結果(学年別 1・2回目比較)
  - 4、令和3年度 貝塚高等学校 学校教育自己診断
  - 5、学校運営協議会 広報委員会より
  - 6、教務に関する令和3年度の取り組み
  - 7、学校運営協議会 進路指導部
  - 8、令和3年度 第3回 学校運営協議会資料 生活指導部報告
  - 9、早朝登校失敗課題1(振り返り反省文)

### 議題等

- 1、校長挨拶
- 2、会長挨拶
- 3、議事
  - (1) 令和3年度 学校経営計画の評価について(校長)〈資料1〉
  - (2) 令和4年度 学校経営計画策定に向けての意見(校長)〈資料2〉
  - (3) 第1回授業アンケート結果について(教頭)〈資料3〉
  - (4) 学校教育自己診断結果について(教頭)〈資料4〉
- 4、担当者より報告
  - (1) 広報委員会より(首席)〈資料5〉
  - (2) 教務部より(教務部長)〈資料6〉
  - (3) 進路指導部より(進路指導部長)〈資料7〉
  - (4) 生活指導部より(生活指導部長)〈資料8・9〉
  - (5) オンライン担当より(情報主担)
  - (6) 3年次団より(3年次団主任)

## 5、その他

○第24回貝塚高校教育フェスタについて

## 6、閉会挨拶（校長）

### 協議内容

#### 4、議事

##### (1) 令和3年度 学校経営計画の評価について（校長）〈資料1〉

###### 2【中期的目標】

〈確かな学力の育成〉

- ・学校教育自己診断における「わかりやすい授業」の肯定率を、R5年度には70%以上をめざす。シンプルなところだが、大切にしていきたい。
- ・R3年度には進路未定率1%以下を達成し、R5年度までに0%をめざす。

〈キャリア教育、人権教育の推進〉

- ・R5年度には18クラス規模で3800件未満をめざす。

〈「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成〉

- ・学校教育自己診断（生徒）における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の肯定率を、R5年度には75%以上をめざす。3年間でめざしていきたい。

###### 3【本年度の取組内容及び自己評価】

〈確かな学力の育成〉

- ・「わかりやすい授業」65.7%を68%にする→70.5%という結果になった。非常に高い数字で、それぞれの教員の取り組みの成果が表れたものだと思います。
- ・「教え方に工夫をしている先生が多い」78.4%を80%にする→79.4%と目標には到達しなかったが、微増している。
- ・「保護者の相談に適切に応じてくれる」85.1%を87%にする→83.3%と目標にはあと少し届かなかった。
- ・「就職一次合格率」を85%以上にする→78.%という結果であった。数字だけを見ると目標には到達していないが、コロナ禍により求人微減の中、よく健闘した。
- ・漢字検定受験者数→今年度はコロナ禍で予定回数実施できず、中止となった。
- ・英語検定受験者数 150名以上が目標であったが、80名となった。コロナ禍で受験者制限・
- ・（教職）「学習指導の方法について他教科の担当者と話し合う機会がある」R2年度は81.6%→今年度は47.2%と下がる結果となった。これは新型コロナウイルスの影響により、研修が中止になり、R2年度の研修では教科の壁を越えて話し合う機会があったため、このような結果となったと考える。
- ・（教職員）「校内研修は教育実践に役立つ」81.6%を83%にする→62.9%と減少した。これは1人1台端末が導入され、オンラインチームによる研修などがあったが、教職員自身が絶対にしなければいけないことと考えており、研修という意識がなかったためと思われる。

### 〈キャリア教育、人権教育の推進〉

・「自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」79.8%を80%以上にする→79.3%という結果となった。これはコロナ禍により発表形式の授業が予定通りできなかつたためと思われる。

・「進路についての情報をよく知らせてくれる」を85%以上にする→81.3%という結果となった。伝え方の工夫を要検討。

・「進路や生き方について考える機会がある」80.8%を82%にする→81.6%となり達成はしなかったが、微増するという結果となった。

・「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」85%以上を維持する→84.3%となり減少した。変わらず高い肯定率であるので、現在の取り組みを永続する。

上記の3つの項目は数字が目標に届いていない。学年別で見たときに、3年生は高い数字が出ている。2年生は例年数字が減少している。

・「先生の指導に納得できる」62.9%を65%にする→68.7%という結果となり、生活指導方針が少しずつ生徒に浸透してきたかもしれない。特に3年生は進路指導とも重なつたためか、数字が高かつた。

・遅刻件数を18クラス規模で3900件未満にする【19クラス規模で4252件】→未定であるが、結果にかかわらず、取り組みを継続していく。

### 〈「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成〉

・行事満足度95%を堅持→96.5%と高い数字となった。生徒会や担任が生徒たちに呼びかけ、生徒たちもそれに答えてくれたことが結果に出ていると考える。

・学校教育自己診断における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」71%を72%に→76.4%という結果となった。令和5年度までに75%を目標にする予定であったが、高い数字となった。

・「保健室や相談室で相談できる先生がいる」59.1%を60%以上に→61.8%という結果となった。これは教育相談体制の整備の成果だと考える。

・中高の部活動交流の実施クラブ数（5部以上）【0回】→新型コロナウイルスの影響により、実施できず。

・地元小中学校と連携→新型コロナウイルスの影響により、実施できず

・写真で見る貝塚高校と校長ブログの更新→写真で見る貝塚高校38回、校長ブログ36回更新

・学校説明会での成果物の活用と生徒の参加→すべての説明会で生徒出演の動画を流した。

・「わかりやすい授業」と「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」は、下がらないようにしていきたい。

・若干届かなかつたところについては、真摯に受け止めて来年度に生かしていきたい。

## （2）令和4年度 学校経営計画策定に向けての意見（校長）〈資料2〉

### 2【中期的目標】

#### 〈確かな学力の育成〉

ア 従来の授業実践と1人1台端末の取り組みによるICT機器の活用した授業→令和4年度からこの取り組みをさらに充実させていきたい。

・学校教育自己診断における「わかりやすい授業」の肯定率を、R6年度には73%以上をめざす。

・R4年度には進路未定率1%以下を達成し、R6年度までに0%をめざす。

〈キャリア教育、人権教育の推進〉

エ R5 年度には 18 クラス規模で 3800 件未満をめざす。

〈「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成〉

ウ 国際理解教育を進めるため、海外の生徒と交流する機会を設ける。この 2 年間実施できていないので、なんとか実施したい。

・学校教育自己診断における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の肯定率を、R6 年度には 78%以上をめざす。職員研修を生かしていきながら、高めていきたい

### （3）第 1 回授業アンケート結果について（教頭）〈資料 3〉

・7 月と 12 月の年に 2 回行っています。

・生徒取組 1 私は遅刻・欠席をほとんどせず、授業を受けている

→3 学年とも減少。夏休み明けにコロナが増加し、不安で学校に来られない生徒や授業を受けられない生徒が増えたため

・例年 2 年生は中だるみにより減少する傾向にあったが、生徒取組 1 以外は微増している。

・13 から 17 番の実技教科は、減少したところが多かった。その原因として、新型コロナウイルスの影響により実技科目が制限されたためと考える。

・座学の科目は増加傾向にあり、特に外国語は生徒取組 1 以外増加している。

### （4）学校教育自己診断結果について（教頭）〈資料 4〉

・比較的数値の高いものが多く、特段下がっているものもない。

・（生徒）命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある→外部の講師を呼ぶことができなかった。数値は下がったが、キープはできている。

・（生徒）授業でコンピューターを使う機会が多い→Chromebook を 1 人 1 台端末として配布し、授業をはじめ、集会などいろいろなところで使用している。

・（生徒）校長先生は親しみやすい→例年低い数値となることが多いが、今年度 3 年生は高い数値となった。これは、集会を配信で行ったり、面接指導を行ったことが、数値が高くなったことにつながったと考える。

・（保護者）今年度は学校行事などを制限した状態で、参加していただいた。

・（保護者）この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある→新型コロナウイルスの影響により、授業参観は実施できていない。

・（教職員）学習指導の方法や内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある→前年度より下がった。前年度は他教科の壁を越えたチームを作り研修を行ったため、増加したと考える。

・職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している→前年度より減少した。今年度は ICT に重きを置いた会議や研修となったため、意思疎通より一方通行のことが増えたことによるものだと考える。

・2 年生は例年、アンケートの肯定率が低いが、今年度も同様に低い結果となった。2 年生は入学当初から新型コロナウイルスの影響により下がっているのではないかと考える。生徒たちの思っているものに近づけていけるようにしていきたい。

#### 4 担当者より報告

##### (1) 広報委員会より (資料5 参照)

オープンスクール 2021 (10月30日 (土) 開催) 概要

・330名参加

全体説明は体育館で行い、各教室へ移動し、体験授業を実施しました。

※オープンスクール 今年度から体験授業は各パックに関連した授業

・12月11日 (土) 学校説明会 172名参加 (保護者含む)

・1月16日 (土) 学校説明会 新型コロナウイルスの影響により中止

・2月19日 (土) 学校説明会 実施予定

学校説明会は申し込みをすべて Google フォームで行いました。大きな混乱もなく、無事受付を行うことができました。

・今年度の外部のイベントは中止または、資料 (パンフレット) 提供のみの開催となりました。

・学校出前説明会では、動画で説明会を実施しました。

・新パンフレット、新ポスターの作成

・学校紹介動画の作成…授業・進路・行事など、5つの動画を作成しました。近日中に HP にアップロード予定です。

##### (2) 教務部より (教務部長) (資料6)

###### ① 新カリキュラム

・新1年生より、新カリキュラムが導入されます。今まで1年次では選択科目が2科目ありましたが、来年度よりすべての科目が共通科目となります。

・2年次では、選択科目が7→5科目に減少します。

・今までパック選択の際は、用紙に記入する形をとっていましたが、集計に時間を要するということもあり、来年度より Google フォームを利用した科目選択を検討中です。

###### ② 新観点別評価法の導入について

(i) 知識・技能

(ii) 思考力・判断力・表現力

(iii) 主体的に学習に取り組む態度

上記の (i) から (iii) の3つ資質・能力について、ABC 評価による3段階評価を実施。各観点評価の比重を1:1:1とし、総括的達成状況として5段階評定で総括する。

・今年度の取り組み

4月～：新観点別評価コアチーム (内容の検討・今年度の取り組み計画の立案)

7月：コアチームによる教職員研修 (内容の共有・施行についての案内)

8月～：各教科による施行 (担当科目にて新観点別評価を見据えた授業・評価を施行)

12月～：施行アンケート (施行をもとに課題等を集約)

2月～：内規確定

### (3) 進路指導部より (進路指導部長) (資料7)

#### 1. 3年次生 進路状況(236名)

##### 【16期生 進路決定者数 (2022/1/14)】

- ・80%以上は合格をもらうことができている。
- ・就職者は20名弱

##### 【大学合格者数 30名】

- ・大阪河崎リハビリテーション大学 7名
- ・四天王寺大学 4名
- ・桃山学院大学 3名

##### 【短期大学合格者数 24名】

- ・70%以上が保育・幼稚園教諭などが多い

##### 【大学校 6名】

- ・近畿職業能力開発大学校

##### 【専門学校 108名】

- ・医療分野 42人→そのうち30名が看護の学校へ。
- そのほか、歯科衛生士、理学・作業療法士などの学校が多い。
- 3年生全体の5人に1人が医療系の専門学校へ
- ・衛生分野 19名
- 調理・美容の専門学校が多い

#### 2. 進学

- ・大学入学共通テスト 1月15日、16日 受験者3名

#### 3. 奨学金

- ・JASSO (日本学生支援機構)
- 200名中151名が申込み
- ・3年生全体の7割以上が奨学金を希望、利用している

#### 4. 就職

- ・就職未決定者：ハローワーク岸和田へ登録 3名

#### (4) 生活指導部より (生活指導部長) (資料 8・9)

<本校の現状>

- ・遅刻、欠席などは、年度途中のため集計ができていません。

<本年度の新たな取り組み>

##### (1) 生活指導部関係見直し

○昨年度までの遅刻指導

- ・定期考査間で 5 回登校遅刻→早朝登校 (8:20 までに学年職員室で点呼) 5 日
- ・早朝登校に失敗すると、その日の放課後にペナルティとして漢字書写課題 (約 30 分)
- ・その期間内に、1 回失敗=1 枚、2 回失敗=2 枚、3 回失敗=3 枚の課題累積

○改定する理由

・担任や学年生指から説諭はしているものの、懲罰的 (失敗即罰) であることに加え、遅刻の指導が、なぜ漢字書写なのかと保護者・生徒・(先生も) からの申し出あり。

○新ルール

- ・早朝登校失敗 1 回目は、振り返り反省文 (10 分程度)
- ・早朝登校失敗 2 回目からは、その日の放課後に従来の漢字書写課題
- ・失敗を重ねることでの累積なし (何度失敗してもその日の分の 1 枚を課す)

##### (2) 校外交通指導開始 (生指部副担任で)

○苦情をもらってから立つ (対処療法) のではなく、予測して事前に防止できればと実施。

○学期に 2~6 回交通指導を行うことで、例年多かった場所からの苦情電話が激減。

○ここ 2 年南海貝塚駅で、「マスク着用」指導を実施。

○今年は、近隣の方から、保護者の自動車送迎 (駐車が迷惑) に関する苦情多数。ご迷惑をおかけしているが、コロナウイルスが落ち着けば自動車送迎も減ると考えています。

##### (2) 女子制服の購入ルール変更

○令和 4 年度入学生からは、以下のように購入方法を変更

- ・女子ネクタイ、リボンは選択購入 (どちらか 1 つ・両方購入可能)
- ・女子ネクタイに伴い、スカートと女子スラックスについても選択購入

○男子のスカートとリボンについては、男子が就職試験にスカートをはいて面接を受けるにはハードルが高いと判断し、男子については個別対応。

### (5) オンライン担当より（情報主担）

- ・10月 Chromebook 導入。生徒管理のもと運用している

現在、紛失と画面破損の計2件です。それ以外は、大きな問題もなく行えている。

しかし、Chromebook を家に忘れた。充電し忘れたことで授業が受けられない生徒も出てきています。

- ・1月 新型コロナウイルスの影響により学校が休校となり、GoogleMeet を使用した朝の SHR を10分程度クラス担任が行いました。40名中30名弱が SHR に参加しました。

また、授業担当者がその日にできる課題をお昼の12時までに配布し、生徒がそれを提出するという動きもありました。前日などに教員同士で話し合いながら、中には授業風景を動画に撮影し、授業を行った教員もいました。

### (6) 3年次団より（3年次団主任）

・今年度の3年生は、2年生の頃から新型コロナウイルスの影響を受け、文化祭や体育祭といった様々な行事の延期や制限、修学旅行の中止といったことを経験してきました。今年度も変わらず、1学期に行うはずだった体育祭が延期となり、準備をしながら楽しみにしていた生徒の気分が沈んでしまいました。2学期からは、行事に加えて進路のことも重なってくるので、盛り上げていこうという気持ちで、生徒とコミュニケーションを図っていきました。生徒たちの気持ちがクールダウンしてしまい、気持ちに火が付きにくくなっていましたが、体育祭が近づくにつれて盛り上がりを取り戻し、生徒も一生懸命に取り組んでくれ、楽しいと思ってくれた体育祭となりました。

・行事が2学期に伸びたこともあり、進路と重なる生徒も出てきて忙しくなり、遅刻をする生徒が増大しました。しかし、遅刻しながらでも学校に来る、学校が好きな生徒が多いように思います。

・現在、3年生は卒論を作成中で、記入方法を Chromebook にしています。Chromebook にしたことにより、生徒のスマホ端末からでも入力することができ、使い慣れている機器での作業のため、順調に進んでいます。

### (7) その他（首席）

- ・新パンフレット 完成したものをご覧いただきました。



〈質疑〉

(学校経営計画)

Q. 「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の数字が高いですが、意識的に取り組んだことがあれば教えてください。

A. 貝塚高校では、教員と生徒との距離が近く、そういった学校文化が土台となり、支援がしっかりと行えているものと考えています。

Q. 行事満足度が高いのは、なぜだと思いますか？

A. 生徒会や担任を中心に、生徒に対する声かけを熱心に行い、それに答えようと生徒が一生懸命動いたことで、成り立ったことだと思っています。特に、3年生が一生懸命に取り組む姿を1・2年生が見ているので、全体が積極的に取り組む姿勢を見せてくれていると思います。

Q. 遅刻数へこだわりを持っているように感じますが、それはなぜですか？

A. 体調面や精神面などで学校に行きたくてもなかなか行くことができない生徒もいる。単純に数字だけで判断できることではないが、遅刻は生活習慣の土台ととることができるので、シンプルなところではあるが、大切にしている。

(生指) 遅刻数だけにこだわり学校にきちんと来ることだけで安心・安全とは言い切れないが、学校に来てさえくれれば、次のステップにいくことができる。

(授業アンケート)

Q. 教職員のアンケート回収率が低いですが、どうしてですか？

A. 行事がたくさん重なり、その合間でアンケートを実施したため、回収率が低くなったものと考えています。また今回は用紙に記入するアンケートを実施しましたが、ICTの希望が多かったため、今後検討していきたい。

(オンライン)

Q. 授業配信などの取り組みについて、生徒の反応はいかがですか？

A. 朝のSHRは教員と生徒との双方向からのやり取りができましたが、授業と行うとなると家庭にWi-Fiのない生徒もいます。貸出可能なWi-Fiはありますが、一か月に20GBしか使えないため、授業を一日分受けるのは、難しいです。

(生徒指導)

Q. 漢字書写とは、具体的にどのようなものを書きとらせますか？

A. 漢字検定3級の漢字になります。元々は漢字書写もためになるようにと、始めたものになります。

## 6、その他

○第24回貝塚高校教育フェスタについて

・令和4年2月3日（水）

今年度の貝高フェスタも例年通りコスモシアターで開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により本校で行うことになりました。また、今年度はオンライン配信としまして、事前に動画を撮影したものを流します。